



ニガタ子ども会

No. 124



第五十回関プロ子ども会育成研究協議会

「日本一幸せな子ども会を作ろう」

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 副会長 桐生 正 栄

日本の港町を代表する神奈川県横浜市において関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会が十月二十九日～三十日の二日間開催されました。三百六十余名の参加者及び大会関係者の参加があり、本県から二十名の子ども会関係者が参加しました。開会行事のオープニングセレモニーは、大和市中央六丁目子ども会「チアガール」・「ソーラン隊」で、子どもたちが振付を考え、後輩たちに教え伝える形が受け継がれている地域に認められた子ども会が、盛大に開会を盛り上げてくれました。

開会式では、全子連会長及び関プロ会長の挨拶、退任者表彰及び功労者表彰に続き、来賓の前文部科学副大臣 義家弘介様、神奈川県知事 黒岩祐治様、神奈川県議会議長 佐藤 光様の祝辞があり、盛大に開会式が開催されました。

今回の研究協議会は「日本一幸せな子ども会を作ろう」をスローガンに、発想を転換して「育成者が幸せなら幸せな子ども会はつくれる」という観点から、親も子どもも関係者も楽しくなる方策を四つの分科会に分かれて研究協議が行われました。第一分科会は「子どもにまかせな子ども会」、第二分科会は「家庭と地域の輪を広げて協力

し合う」、第三分科会は「楽しい行事を楽しく行う」、第四分科会はユースリーダー研修会かながわ宣言「ユースリーダーはこうあるべし」の作成です。私は第一分科会に出席し、神奈川県大和市の小川陽子様の総合司会により各テーブルに分かれ茨城県、群馬県、千葉県、山梨県、栃木県の方々と、各県の事例も参考にテーマを実現させるための課題についてそれぞれの考え方や意見を出し合い、活発な意見交換及び研究協議を行い、課題解決のための策をまとめテーマを実現するための三箇条を作りました。

二日目は、各分科会の報告から始まり、ユースリーダー研修会からは「ユースリーダーはジュニアリーダーのコーチであるべし」、第一分科会は「最後は大人の責任、ハッキリ伝えて子どもにま

かせな」、第二分科会は「安心・安全、地域との連携」、第三分科会は「行事の企画は子どもを入れて！笑顔



で、最後に神奈川県子連の伊川直樹様より「子どもにまかせて、子どもに協力、子どもの目線ですべてを考える」と総合報告がありました。

閉会式で山上武久関プロ会長より「スローガン（日本一幸せな子ども会を作ろう）は、何事も幸せに考えて行こう、それが子どもに伝わり、街に伝わり、地域に伝わり、子ども会員が増える、この熱い思いを地元に帰られて活躍してほしい、それが神奈川県大会のすべてであります」と結ばれ、大会旗が次年度開催の栃木県へ引き継がれ閉会しました。

最後になりましたが、関プロ育成研を通して他県の関係者と交流できたことに、神奈川県スタッフの皆様から感謝申し上げ、大会の報告と致します。



青少年教育のこれから

新潟県教育庁生涯学習推進課青少年
家庭教育係社会教育主事 菅井 大^{だい}

一、はじめに

私事ですが、教育の世界で仕事を
するようになり二〇年になりました。
臨時教員として三年、教諭とし
て一六年、高校公民科の教員として
教壇に立ち続け、昨年の春から県庁
に出向し現在の仕事をしています。
資格を取り、今年度から社会教育主
事の発令を受けました。

県子連だよりの原稿依頼を機に、
これまでの教育との関わりを振り返
りながら、今後の展望について、思
うところを述べたいと思います。

二、子どもたちを待つ未来

現在の職場に身を置き、青少年教
育に携わるようになって、しきりに次
に挙げるような言葉を聞きます。ひ
とつはニューヨーク市立大学のキャ
シー・デビッドソン教授の「子どもた
ちの六五％は、大学卒業後、今は存
在していない職業に就く。」「もう一つ
は、オックスフォード大学のマイケル・
A・オズボーン准教授の「今後一〇か
ら二〇年程度で、約四七％の仕事が

自動化される可能性が高い。」という
言葉です。いずれも、予測不能にして
激しい社会の変化に、いかに対応で
きるよう教育を進めて行くべきかを
学ぶ研修会等の趣旨説明や講演の冒
頭で、必ず用いられます。さらに「人
生一〇〇年時代をいかに生き抜くか」
という話も加わるようになってきました。

果たして、これは一体何を意味す
るのでしょうか。子どもたちを待ち
受けている未来は明るいというのか、
それとも暗いということなのか、心
配ないさという励ましなのか、しっ
かりしろという戒めなのでしょうか。

フランスの著名な哲学者ルソー
は、教育を扱った著書『エミール』
でこう述べています。

「大人になったとき、自分の身を
守ること、運命の打撃に耐え、富も
貧困も意に介せず、必要とあらばア
イスランドの氷島の中でも、マルタ
島の焼けつく岩の上でも生活できる
ことを学ばせなければならぬ。」

これもまた衝撃的な言葉ですが、
高校勤務時には、年度最初の授業、

あるいはホームルームのイントロで
いつも、学びの意義として紹介して
いました。『エミール』が世に出た
のは一七六二年です。

要するに時代を問わず、過去に学
び、現実を直視し、未知なる未来を
切り開くことが、教育の役割とい
うことなのでしょう。

三、子ども会に期待すること

子ども会に期待することはたくさ
んあります。それこそ、子ども会の理
念たる「地域の子どもは地域で育て
る」は、地域学校協働活動や「ミニ
ティ・スクールのよつに、今や国が推
進する教育政策の柱になっています。
皆が当事者意識と責任を持ち、連携・
協働して地域の子どもを育てること
が、地域活性化にもつながります。

また近年、幼少期からの自然体験
活動が豊富な子どもは、自己肯定感
や礼儀正しさ、正義感に優れる傾向
にあるという、国立青少年教育振興
機構の調査結果が注目されています。
反面、世の中の進歩が子どもた

ちの体験の機会を奪うという矛盾も
生じています。私が子どもの頃は、
鉛筆削りをナイフでやるのが咎め
られるようになっていました。今
やシャーペンが当たり前の時代、そ
して、IHの普及で火そのものを見
る機会も失われつつあります。それ
だけに子ども会のKYT（危険予知
トレーニング）は、どんな世の中にな
ろうと対応できる「生きる力」に
つながる取組であると思います。こ
のたよりに載る子どもたちの感想文
が、今後も楽しさや充実感に満ちた
ものであってほしいと思います。

四、終わりに

歳を重ねるにつれ、授業をする際
に「私の余生は、目の前の生徒をは
じめこれからの子どもたちに支えら
れることで成り立つのだろう」とい
う思いが強くなりました。学校を離
れてからは、今まで以上にかつての
教え子たちの活躍を念じています。
偶然にも同じ建物内で働く教え子が
いますが、その姿には頼もしさを感
じます。今まで面倒を見てきた子ど
もたちに、大人はいずれ面倒を見て
もらうことは確実です。頼む、助け
てくれ、力を貸してくれという意識
で子どもと向き合うことが、私たち
に希望をもたらす、同時に国際的に
低いとされる日本の子どもの自己肯
定感が高まるのではないのでしょうか。

上越地区

楽しかった合同キャンプ

柿崎区上下浜子ども会

五年 高橋 琴美

七月二十九・三十日に上下浜と三ツ屋浜の合同キャンプがありました。私が心に残ったことが六つあります。

一つ目は、友達とバスの中でしゃべったり、少し食べたりのしながらキャンプ場に行くまでのことが心に残りました。

二つ目は、キャンプ場についたあと、みんなとお昼ごはんを食べたことです。親友と友達で、うどんとおにぎりを食べました。みんなとしゃべったりしながら、楽しくごはんを食べたことが思い出になりました。

三つ目は、夜ごはんのあとのキャンプファイヤーと、花火をしたことです。キャンプファイヤーでは、ジュニアリーダーの方が遊びを考えてくれて、そのやり方も教えてくれたので、上下浜と三ツ屋浜のみんなとキャンプファイヤーの遊びで、「きずな」がすごく深まったと思います。

四つ目は、お風呂に入ったことです。下の学年や同じ学年の人と、「今日は、楽しかったね。」とお話したりして、とてもいいお風呂になりました。五つ目は、すいみん時間です。みんな、変な話や少し遊んだりしながらねました。

六つ目は、朝ごはんを食べ、朝からおさんぽをしました。少し寒かったです。また太陽もでていなくて、すこ



く曇っていました。キャンプ場にもどって、帰りにバスをしてバスにのって帰りました。とても楽しかったです。

キャンプの思い出

三ツ屋浜子ども会

六年 滝澤 和音

七月二十九日、三十日、子ども会行事でキャンプに行きました。今回のキャンプは、上下浜子ども会と合同で初めてのキャンプであり、私にとっても最後のキャンプでしたが、六年生の友達と、たくさん楽しかった思い出をつくる事ができました。

キャンプ場についてから、屋内でスイカ割りを行いました。とても盛り上がり、楽しかったです。お昼ごはんの後、夕食のカレーをつくる準備を皆でやりました。カレーのあじも最高でした。夕食の後、キャンプファイヤーをする事ができました。大きなキャンプファイヤーをかこんで、ジュニアリーダーのお兄さんお姉さんたちから、色々な遊びを教えてもらいました。キャンプファイヤーの炎がすごく大きかったので、熱さと炎で、ドキドキでしたが、キャンプの中で、一番の思い出になりました。天気が悪かったので、外でテントをはれずに、屋内で泊まりましたが、夜は六年生の友達と色々な話でもり上がりなかなか眠れませんでした。今回のキャンプでは、ジュニアリーダーの皆さんが優しく色々な遊びを教えてくれたので、すごく勉強になりました。

中越地区

上原子ども会の

行事について

南魚沼市上原子ども会

六年 種村 雅虎

ぼくが住んでいる城内の上原には、子ども会があります。一年間の行事は、ボウリング大会、子どもみこし、六年生を送る会などがあります。

今回は、子どもみこしについて紹介します。毎年、八月十五日に子どもみこしをかついで、大人と一緒に上原を歩きます。この子どもみこしは、何年か前に抽選でいただいたもので、とても立派で、きれいなおみこしです。

しかし、とても重いのでかつぐのに苦労しますが、その後の達成感がとてもよいと僕は思います。



今年は、雨が少し降りましたが、団結して最後まで担いで、とてもうれしかったです。この子どもみこしは、これからもずっと続くので、中学生になってもボランティアとして、参加したいと思っています。

おみこし

かついだこと

南魚沼市上原子ども会

二年 丸山 凜華

わたしは、八月十五日におみこしをしました。たのしかったことが、二つあります。

一つ目は、おみこしをかついだことです。さいしょは、おもったけれども、だんだん慣れてきたからです。二つ目は、おみこしをゆらしたことです。ゆらしたとき、すずのおとが、たくさんしたからです。

らいねんやるときは、おもたくても、ちゃんとおさえていたいです。



下越地区

楽しかった
子ども会行事新発田市大槻子ども会
六年 阿部 未愛

七月三十日に小学校で夏休み行事がありました。最初にドッジボールをしました。大槻にはドッジボールが好きな人がいます。大人対子どもとの対戦をしました。「キャー」と色々な所からさけび声が聞こえました。当たらないように逃げて楽しかったです。三回やって全部勝ったのでうれしかったです。

「できるかな〜」次に、大縄をしました。続くようにやったら一年生もとべていてすごいなあ〜と思いました。私達がやっていたら友達が出来て倍に楽しくなりました。次にミッシヨンゲームをやりました。参加したお父さん、お母さんの所へ行きミッシヨンをクリアするため頑張りました。クリアしたらカードにシールをはってもらい、終わったら花火をもらいました。すごく楽しくできました。みんなで焼きそばも食べました。その後少し休けいして、また沢山遊びました。夜に花火をする予定だったけど、風や雨になったので



中止になりました。とても残念でした。

私は、学校でする子ども会行事は久々だったけど楽しかったです。ミッシヨンゲーム、大縄、ドッジボール、バーベキューができて楽しかったです。みんなも楽しくできていて良かったです。夏休み行事は終わったけど冬などの行事も楽しみです。夏休みは、思いっきり遊んで勉強したいと思います。私にとって六年間の最後の夏休み行事だったけど、この後の行事も楽しみたいと思います。協力したりは楽しくなったりしたけど、楽しい行事ですごく良かったなあ、あの時に戻りたいなあ〜と思っています。

佐渡地区

夏の楽しい
バーベキュー

佐渡市宮川子ども会

五年 渡辺 希美

八月の夏休み中に宮川子ども会の行事で、六年生主催のお楽しみ会でバーベキューがありました。私は、お母さんと妹と一緒に参加しました。六年生のお母さんたちが私たちよりも早く来て準備をしてくれていました。来年は、私たちも頑張ってお手伝いしたいと思いました。そんなことを思っていたら、焼きそば、トウモロコシ、フランクフルト、チキンナゲット、おにぎり、お茶が出てきました。私はみんなと話しながら、いっぱい食べて暑さを感じることもなく、たくさん遊びました。とても、とっても



楽しかったです。また来年も参加したいと思いました。

あつくて重かった
子どもみこし

佐渡市宮川子ども会

二年 駒形 莉央

八月二十七日、あんじゅ天神まつりの子どもみこしに参加しました。ハッピを着てみこしを

かついたら、あせがたくさんできてとてもあつかったです。学校に行く時に通る畑野商店街がみこしをか

ついでいるといつもより長くかゐてつかれました。でも、まわりで見ている人たちが「がんばれ」や「もう少しだよ」と声をかけてくれたからがんばれました。おわってから食べたかき氷がすごくおいしかったです。また来年も子どもみこしに参加したいです。

平成二十九年度

第二回中学生・高校生

ジュニア・リーダー中級研修会

・期日 平成二十九年七月一日(土)～二日(日)
 ・会場 国立妙高青少年自然の家

中級研修会に参加して

柏崎市 中一 高橋 音王

僕は、今回初めての中級研修会でした。最初はとても緊張しました。けれど、すぐに仲良くなれました。この様な場面でも、「コミュニケーション力」は必要だと改めて思いました。

主に印象に残ったこと。それは、子ども会KYTからの「安全啓発」という演習です。その演習で僕が見つけたキーワード。それは、「自分の命に責任を持つことで、人の命も救う」という言葉でした。最初は、「自分の命に責任を持つ」ということの意味に、疑問を感じていました。しかし、この演習を聞くにつれて、段々と分かってきました。一人一人が、危険・事故に対する感受性を鋭くすることや、一人一人が危険に対する集中力を高めることによって、多くの命が救われるということなのです。そのために、僕たちは何をしたら良いのだろうかと考えることができました。

他にも、子ども会の意義や、災害時、水が少ないときのための野外炊飯、チームワークを深める活動などをしました。

これからも、学びや活動を生かしながら、もつとジュニア・リーダーとして行動できるように、頑張りたいです。

中級研修会で一番学んだこと

柏崎市 中二 前澤 啓人

僕は、去年に中級研修会に二回参加したので、今回の研修会では三回目の研修会となりました。三回目の研修会では久しぶりに見る顔が多いかと思ったり、初めて見る顔の方がたくさんありました。初めて会う人たちは互いに緊張や不安を抱えていましたが、すぐに打ち解けることができました。

今回の研修会では話し合い活動が印象的でした。キャンドルファイヤーでやる劇について何を考えるか考えたり、KYTで絵の中のどこが危険なのか意見を出し合ったりしました。どの話し合いもたくさん意見が出て有意義な話し合いになりました。僕は、友達作りや話し合い活



動などから「コミュニケーション」という事がとても大切だと思いました。人の目を見て話を聞いたり、自分の意見を言ったり、時には冗談を言って笑いつけたりすることが大事だということを知りました。今回の研修会で学んだこの事を学校で生かしていきたいです。

中級研修で学んだこと

板倉区 中二 小倉 吹樹

私は、中級研修会に初めて参加しました。今回の研修会で学んだことは二つあります。

一つ目はKYTです。KYTとは危険予知トレーニングのことで、事故やけがを防ぐための練習です。人は初めて、もしくは久しぶりに何かをしたり、急に変更をしたときミスをしてしまうそうです。例えば火を起こそうとしているときに、「確かこうだったような」「これってどうだったっけ」「でもやっちゃえ」と、間違ったやり方をしてしまうと事故の原因になります。事故には予兆があります。この場合は、「確かこのような」「やっちゃえ」というのが予兆です。わたしは時々いい加減な判断をして間違えることがあるので、



曖昧なところは周りの人に聞きたいです。二つ目は災害時の炊飯です。災害時は水も大切です。だから汚れた皿を洗えません。そこでポリ袋を使いました。これなら汚れずに安心です。

私たちの班の班長はとてもしっかりしていて頼れる存在でした。私もJとして子どもたちの頼れる存在になりたいと思いました。

中級研修に参加して

板倉区 中二 猪俣 綾花

私がこの中級研修に参加して、とても印象に残っていることは三つあります。

一つ目は、初日の最初にあった自己紹介です。

私は人前で話すことが苦手ですが、同じチームの人たちが、自分の方を見てくれたりして、とても話しやすくてうれしかったです。私もそんな雰囲気を作っていきたいと思います。

二つ目は、KYTです。

KYTの「K」は危険。「Y」は予知。「T」はトレーニングです。KYTをしたことによって、活動の前に危険なところを見つけ、初めにみんなに伝えることができ

るようになりしました。

三つ目は、野外炊飯です。

私たちはカレーを作りました。しかし、鍋ではなく、ポリ袋の中に材料を入れ、自分たちで火をおこしました。野外炊飯をして、みんなで協力をするこの大切さを学びました。

中級研修に参加して

柿崎区 中三 小関 大晴

僕は今回、初めて中級研修に参加しました。初めてだったので、最初のほうの自己紹介の時に緊張してしまい、周りの人とあまりなじめなかったです。ですが、いろいろな行事をやっていくことでだんだん仲が良くなって、いろんな仲間と一緒に協力して助け合えたりすることができました。

中級研修では、今後地域のため、子どもたちのためにどう活動すれば良いか学びました。学んだことは二つあります。その二つはコミュニケーション能力とジュニアリーダーをやっていく中でどのような所を注意して行えばよいかということを学びました。昼には野外炊飯でカレーを作りました。僕は「火起こし」を担当しました。なかなか

火をつけられず大変でしたが、施設の方から教えてもらったらすぐに火がつきました。カレーはとても美味しかったです。この研修に参加して自分に自信ができました。

今回の研修で学んだことを今後に活かしていきたいです。

中級研修に参加して

柿崎区 中三 滝澤 新

僕は、今回中級研修会に参加したのは二回目でした。

一回目なので、初めての時よりは緊張しなかったですが、最初の方はやっぱりなじみにくかったです。

今回の中級研修会で特に印象に残ったことは、キャンドルサービスと野外炊事です。

キャンドルサービスは初めてやってみましたが、他の地域のリーダーたちと協力して役割を分担して、役を演じることができてとても楽しかったです。

野外炊事ではカレーを作りました。カレーの具材を火の通りやすい大きさに切るといのが思ったよりも難しく、カレーが出来上がった後も、じゃがいもとにんじんがかたかったのを覚えています。それと、お皿を汚さないように、お皿を袋に包んでからカレーを盛ったり、食べたりするのが、大変でした。

今回の研修で学んだことを今後



のジュニアリーダーの活動や、普段の生活にもいかして子どもたちのよいリーダーに少しでもなれるようにがんばりたいです。

最後になりましたが、講師の方々、指導してくださった方々ありがとうございました。

初めて

中級研修に参加して

長岡市 中二 服部 美咲

私は、今回初めてジュニアリーダー中級研修会に参加しました。この研修で自分が成長できたと思うところは二つあります。

一つ目は、二日間のあいだで沢山の人々と交流できたことです。他地域の同じ中学二年生の女の子と色々な話をしをして、仲良くなることができました。また、ジュニアリーダーの先輩や、指導してくださった大人の方々とも交流を深めることができました。

成長できたことの二つ目は、キャンドルセモノーの中で行った劇です。私は、いままで劇の中で、大切な役をやったことがありませんでした。ですが、今回は少ない人数で劇をやったので、沢山セリフがありました。初めてのことはかりで、大変だったけど、みんなで楽しんで劇を



やれたのでよかったです。

今回の経験を活かして、これからの子連の活動にいろいろなチャレンジしてがんばっていききたいです。

中級研修会で得たこと

長岡市中二 長谷川 璃奈

今回の中級研修はとても勉強になった二日間でした。女子が四人だけしかいない仲良くなれるかとても心配でした。しかし、すぐに仲良くなれたのでうれしかったです。

私はJLの活動で苦手になっているものがあります。それは劇などを考えることです。普段は高校生などに助けってもらいながらしていた活動です。しかし、今回は自分たちだけで考えなければなりません。その劇はCSの時に発表しました。緊張して声が小さくなり、ぐだぐだになってしまいました。でも研修の時に自分たちだけで考えて一度失敗して良かったと思いました。失敗したところを見つけることができ、次の活動につなげることができました。

研修は雨で外で行えないものが多くありました。しかし、小学生と一緒にキャンピングでも雨の場合があるのでとても勉強になりました。

研修は本番に向けての練習です。今回失敗してしまったことを次回や本番のキャンピングで成功できるようにしたいです。JL中級研修会はとても勉強になり、他地域のJLとも仲良くなれました。また参加したいです。

平成29年度 第45回 関東甲信越静地区子ども会 ジュニア・リーダー研修大会

・期日 平成29年8月18日(金)～20日(日) ・会場 千葉県「手賀の丘少年自然の家」

百里行く者 九十里を半ばとす

妙高市 高一 寺島 有希菜

私は、今回初めて関プロに参加しました。直前まで関プロとはどのようなことをするのだろう、他県のジュニアリーダーたちと仲良くできるのかと不安だらけでした。

そして迎えた当日。千葉の会場の暖かい雰囲気、不安は杞憂であつたと知り他県のリーダーと打ち解けていきました。

仲間たちと活動するのは、とても良い勉強となりました。普段自分たちの地域で活動していると気付かない活動の進め方や注意点、新しいレクリエーションなどを仲間たちと切磋琢磨し、かつ楽しみながら学ぶことができました。

今、ジュニアリーダーとして活動していると気付かなかつたり、忘れてしまつていた大切なことに気付くことができました。とても価値ある関プロでした。

私が目指しているリーダー像は今の私とは程遠い存在なのかもしれませんが、しかし、百里を行く者は九十里を半ばとす。このことわざの通り遠い目標であっても関プロで学んだことを力として活かし、慢心することなく目指していこうと思います。

関プロに参加して

妙高市 高一 鈴木 佑奈

私は、今回千葉県で開催された関プロ大会に初めて参加しました。

県外のJと交流するのは初めてで、人数が予想よりも多く、とても緊張しました。同時に、関東地方だけでなくこんなにたくさんのリーダー



がいるのだと驚きました。さらに驚いたのは、他県のリーダー活動への力の入り方です。もっと高みを目指しているリーダーさんを見て、とても刺激を受けました。そして学んだことは二つあります。

一つ目は勢いです。普段活動している時は、子どもたちがなかなかレクのノリについて、これらなくて困ることがありましたが、それはリーダーである私たちが、雰囲気から盛り上げられる状況をつくりていなかったんだと、千葉のシニアを見ていて思いました。

二つ目はレクを臨機応変にアレンジすることです。他県でしているレクを教わって、各地域で同じレクなのに全然違うものがあり、自分たちで作っているというところもありました。そして、活動のテーマがはつきりしていて、それに合わせたレクも面白いと思いました。

今回の参加で他県のJの活動がとても活発で、私にはまだまだリーダー活動への意識が足りていないと分かりました。この学びをこれからの活動に活かしていこうと思います。

関プロで学んだこと

妙高市 高一 草間 栄美

私は、今回初めて関プロに参加させていただきました。自分たちの県ではしたことのないことを他県の人たちから学ぶことができました。

まずは、食事をするときに「いただきます」「ごちそうさま」をすると思いますが、それをレクにしたものを「いたごち」と言い、これをするによって仲間との距離が縮まり楽しく食事をすることができました。

す。私も、初日の食事の時間これをしたおかげで話がはずむようになりました。このレクを入れただけでちがうので、私たちも取り入れていこうと思いました。

次に、物語の流れの中に入れる「ストーリーレク」のことです。物語の流れにそってするだけで、繋がり性が出て最後にはおちがしつかりついてくるのでとても勉強になりました。

最後に、「ジュニアリーダー分析」をしたことです。これをしたおかげで自分の弱いところや強いところがわかり今後に活かすことができると思いました。私は自分の弱いところを見直しつつ、リーダーたちと補い合っていたらと思いました。

今回参加したこの三日間は忘れられない思い出になりました。これを地元で活かしていけたらと思います。

関プロに参加して

長岡市 高三 長谷川 裕生

私は今回千葉県の関プロに初めて参加させていただきました。他県のジュニア・リーダーとの交流を通じ様々な経験をすることができました。その中で一番印象に残ったことは、主催する県のリーダーさんが最初、緊張している私たちを巻き込む明るさや行動力の高さで接してくださったおかげで他県の子と話すことができ会話がとても弾みました。またテーマソングがあり、とても入り込みやすかったです。

そして、今回のプログラムの中でストーリーレクが一番好きでした。オリシナルストーリーの中でレクが展開されていくのが面白かったです。さらにストーリーを演じている人が



堂々と演技しているのがすごいと感じました。その後レクの中で私たちが実際にストーリーを作りながら、演技したのですが、とても難しく、練習しないといけないものだと改めて実感しました。

関プロに参加して

長岡市 高三 筒場 流至

中学三年生の時に初めて参加した関プロに、久しぶりに参加してきました。中学生の頃とは違い、ただ楽しいだけではなく様々な活動を通して仲間たちと仲良くなったのがとても自分のためになったと思います。

同年代のJと先輩のJとには、今回もいろいろなことを教えてもらいました。一つのゲームにバリエーションを増やしたり、面白いルールを追加したりと、意見交換をすることができとてもためになりました。三日間を通しての課題もいくつか見つけることができました。自分が参加者側になることで、休憩の取り方やテンションの上げ方や下げ方、メリハリを付けさせることなどにまだまだ課題があると思います。そういったことをもっと具体的にプログラムに組み込んでおくべきだと感じました。何年か先の関プロ新潟大会に、もし携わることができたら、今回学んだことを活かしていきたいと思っています。

平成29年度 共催事業の取組状況

1 にいがた生涯学習県民フォーラム2017

(新潟県教育委員会との共催事業)

- ・期日 9月15日(金)～16日(土)
- ・会場 新潟県立生涯学習推進センター
- ・内容 新潟県教育委員会と生涯学習県民フォーラム実行委員会(県内10社会教育団体)が共催で企画から実行までを行う事業です。

県子連は、昨年から「子どもの遊びのひろば」として「積み木コーナー」を開設しています。長岡の子ども会有志がきらきらシャボン玉のコーナーを併設して参加してくれました。



2 小千谷市リーダー育成事業

(小千谷市教育委員会との共催事業)

- ・第1回 期日 7月8日(土)
会場 小千谷市総合体育館
内容 開講式・KYT・バルーンアート等
- ・第2回 期日 9月23日(土)～24日(日)
会場 小千谷市民の家
内容 野外キャンプ・野外炊事・テント泊体験等
- ・第3回 期日 10月22日(日)
会場 小千谷市民の家
内容 県子連JL中級研修会との交流活動
- ・第4回 期日 平成30年2月12日(月)祝日(振替休日)
会場 小千谷市民の家
内容 炊事・レクリエーション・閉会式



3 安全啓発交流研修会

(長野県子ども会育成連合会との共催事業)

- 期日 11月11日(土)～12日(日)
- 会場 国立妙高青少年自然の家
- 内容 長野県の子ども会指導者と共同で研修会を行い他県との交流を図る。





子ども会 安全啓発初級指導者養成講習会

新潟県子ども会育成連合会 理事 真保洋子

〈はじめに〉

平成二十九年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会が、新潟市黒崎市民会館に於いて、七月九日九時三十分より十六時までの日程で受講者十二名が参加し開催されました。

最初に、県子連の岡田副会長より開会あいさつがあり、武士侯顧問より、講師をお願いした全子連の杉浦事務局長のご紹介がありました。アクティブラーニング方式で受講者参加型なので、すぐに打ち解けて、楽しく受講できました。また、資料も充実していてこの会が終わった後も広く活用していきたいと思いました。

◆講習内容

一、安全啓発指導者養成講習会が目指すもの

- (1) 子ども会活動に携わる指導者、育成者が安全普及啓発活動を理解し、安全に安心して運営できるよう学ぶ。
- (2) 基本的な用語考え方を理解する。
- (3) 日常の子ども会活動で、安全普及活動（KYT）を教える。
- (4) 保護者にも、安全面の啓発活動をすすめる指導できるよう学ぶ。

〈安全について〉

一、安全教育の考え方

- (1) 安全の意義
- (2) 潜在危険の予測
- (3) 冒険への挑戦
- (4) 安全能力の発達

二、事故の要因と安全教育

- (1) 活動そのものに原因がある場合
 - (2) 参加者に原因がある場合
 - (3) 環境、服装に原因がある場合
- #### 三、遊びにおける危険と事故
- (1) 子どもの遊び

- ① 子どもの遊びの重要性
 - ② 子どもの遊びの特徴
 - ③ 子どもの遊びと道具
 - (2) リスクとハザード
 - ① 遊びにおけるリスクとハザード
 - ② 遊具に関するリスクとハザード
 - (3) 遊具に関連する事故
- #### 四、労働災害の経験則を理解する。
- #### 五、ヒューマンエラーについて
- #### 六、事故防止のための産業界の工夫
- (1) 危険予知訓練



- (2) ゼロ災運動
- (3) 指差呼称

七、津市四ツ葉子ども会の事故とは

八、危険（K）予知（Y）トレーニング（T）

- (1) 子ども会活動での活用
- KYT4ステップ体験学習
- ① 第一ステップ「危険の発見」

どんな危険がかくれているか

- ② 第二ステップ「危険のポイント」特に重要なものは

- ③ 第三ステップ「私ならこうする」みんなで実行する行動目標を決める
- ④ 第四ステップ「私たちはこうする」みんなで実行する行動目標を決める

九、子ども会で防災を学ぼう

- (1) 防災の心得を学ぼう
- (2) 地域の備えを学ぼう
- (3) 災害に役立つ技を学ぼう
- (4) 安全の意識を学ぼう

〈講習から〉

前年度までの子ども会KYT初級指導者養成講習会をKYTに特化せず安全啓発の一環として捉え、安全安心全体を理解し、子ども会活動が環境づくりに役立つようグレードアップした講習会でした。今回初めて安全共済会の事故発生状況を知り、ビックリしました。他人事とは思わずに、この講習会で学んだことを、一人でも多くの人に伝えられたらと思います。丁寧な資料とテキストがありがとうございました。全子連の杉浦事務局長に感謝します。

- #### 十、スポーツ行事のケガ防止
- (1) 全子連共済事故発生状況
 - (2) ケガの種類と発生要因
 - (3) ケガの防止対策
 - (4) ケガと応急処置
 - (5) 食育 ケガをしないための食事

地区別総会のように

<下越地区>

- ・期 日：平成29年4月22日(土)
- ・会 場：新発田市子どもの館
- ・参加者：3名
- ・議 題
 - 1) 平成28年度事業報告及び決算報告
 - 2) 平成29年度事業計画及び予算配分について
 - 3) 平成29年度下越地区子ども交歓大会は新潟市子連が担当する。
 - 4) 次期会長については、阿賀野市とする。



<上越地区>

- ・期 日：平成29年5月27日(土)
- ・会 場：妙高市青少年学習施設
わくわくランドあらい
- ・参加者：11名
- ・議 題
 - 1) 平成28年度事業報告及び決算報告
 - 2) 平成29年度事業計画(案)及び予算(案)
 - 3) その他

・感想
議題についてすべて承認されました。来賓に妙高市教育長 小林啓一様、国立妙高自然の家所長 伊野亘様を迎えて開催しました。総会、終了後に情報交換の時間を持ちました。

地域の活動や問題点・役員改選などが話題になりました。また、来賓の方々に参考になるお話をいただきました。

お茶を飲みながら、なごやかなお互いの地域を知る事ができ、とても良い総会になりました。

<佐渡地区>

- ・期 日：平成29年5月23日(火)
- ・会 場：畑野地区行政サービスセンター 3F
- ・参加者：19名
- ・議 題

総 会 18:30~19:20

 - 1) 平成29年度事業計画について
主な取組み
 - 県子連だよりへの投稿
 - 夏休み親子工作教室
 - 理事会年3回
 - 安全共済会
 - 市からの補助金
 - 第6回おこなわとび大会
 - 少年の主張大会、共催
 - 子ども会加入促進
 - 2) 平成29年度収支予算について
 - 3) 役員改選

会 長 伊藤 博 副会長 石塚 猛
監 査 畑野地区

<中越地区>

- ・期 日：平成29年5月14日(日)
- ・会 場：中之島公民館
- ・参加者：12名
- ・議 題
 - 1) 平成28年度活動報告
 - 2) 平成28年度会計報告
 - 3) 会計監査報告
 - 4) 上記報告通り承認
 - 5) 平成29年度活動計画
 - 6) 平成29年度予算案
 - 7) 質疑及び承認
 - 8) その他
 - 加入促進について、各市の取り組み等



遊びのひろば in 糸魚川

素敵な笑顔の子どもたち

新潟県子ども会育成連合会 副会長 岡田 政枝

今回の「遊びのひろば」の開催地は、フォッサマグナ・ヒスイ峡などで知られている糸魚川市でした。六月二十五日(日)に糸魚川市ふれあいセンター「ビーチホールまがたま」で開催することができました。

開催に当たり、事前に糸魚川市教育委員会の生涯学習課長さんにお話をさせていただき、打合せの日程を決めていただきました。打合せの日が決まり、その直後にあの火災が発生してしまい、そのニュースを見たときは何とも言えない思いがしました。大火から二ヶ月くらいに打ち合わせをさせていただき、会場が決まり、会場見学もさせていただきました。

その時に火災のあった町中の姿を見て心が痛みました。また、子どもたちが心に不安な気持ちや傷を受けたことに対して、なるべく早く元気になるように、この「遊びのひろば」を盛り



積み木

ルーンアト、柏崎市子連「子ども工作・バラエティ風車」、上越市子連「プラバン」、上越市柿崎区子連「割りばし鉄砲」、妙高市子連「スライム」、特別



大工のゲンさん

ト「柏崎市子連「子ども工作・バラエティ風車」、上越市子連「プラバン」、上越市柿崎区子連「割りばし鉄砲」、妙高市子連「スライム」、特別

上げていきたいと感じました。新潟県子ども会育成連合会で作成した「子どもの遊びのひろば」のチラシを市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校に配布をお願いしたり、市の広報誌に掲載依頼をしたりしました。お陰様で準備万端の体制で臨むことができました。

参加の国立妙高青少年自然の家「ネイチャークラフト」の十団体でブースをつくり、会場の中央には「積み木」を配置し、多くの子どもたちが参加してくれるのを望みながら待ちました。「作って遊ぶ」「割りばし鉄砲」のブースでは、紙・割りばしなどを使って遊ぶものを作ったり、作ったもので友達と仲よく遊んで楽しんでいました。「大工のゲンさん」のブースでは、最近親や祖父母が体験をさせてあげられない木工を使い、自分の工夫とアイディアで、トンカチやクギを使っているいろいろなものを楽しく作っていました。その場にいるスタッフはハラドキドキしながら見守っていました。「プラトンボ折り紙」きらきらシャボン玉「バラエティ風車」のブースでは、作り方を学びながら一生懸命に取り組んでいました。「ネイチャークラフト」のブースでは、いろいろな材料をつかって、自分の工夫とアイディアを生かし試行錯誤をしながらも楽しく取り組んでいました。「プラバン」のブースでは、自分の好きな絵を描きオリジナルなキーホルダーにチャレンジしていました。「バルーンアート」のブースでは、細長い風船・丸い風船・ハート型の風船を使いながら色々なものをこしらえ、割れそうな不安な気持ちにチャレンジして



きらきらシャボン玉

名以上の方々から参加していただき「子どもの遊びのひろば」を開催できてよかったと思いました。最後に、会場を提供していただきました糸魚川市教育委員会に感謝を申し上げますと共にブースを提供していただきました各団体に感謝しております。ありがとうございました。今後素敵な笑顔の子どもたちに会えることを期待しています。

楽しんでいます。「スライム」のブースでは、いろいろな分量の材料をコップに入れて、早くかき回し、混ぜて固めてスライムをつくり、そのスライムにストローで空気を入れ、風船をつくって楽しみながら不思議な思いを感じているようでした。どのブースでも子どもたちは、いい顔をして楽しく取り組んでいました。ホールの中央では、「積み木」で色々な形のもを積み上げたり、並べたりして親子で協力して組み立てている姿が見られました。参加者に声をかけてみたら、皆さん「楽しくいろいろなものを作ったよ、よくできたでしょう」と作ったものを目を輝かせながら素敵な笑顔で見せてくれました。少し雨も降っていましたが三〇〇

全子連表彰 おめでとうございます

(1) 授賞式

第51回全国子ども会育成中央会議・
研究大会

(2) 期 日

平成30年2月23日（金）

(3) 会 場

びわ湖大津プリンスホテル（滋賀県）

(4) 受賞者・団体

○個人の部（指導者・育成者）

- ・三条市 武士俣昭司（表彰状）
武士俣綾子（感謝状）
- ・十日町市 齊藤 勝久（表彰状）
齊藤トミ子（感謝状）

○団体の部（子ども会等）

- ・該当なし

▼今後の予定▲

【平成二十九年】

・長岡市子連創立四十周年記念式典

十一月二十六日（日）

（バストラ長岡）

・県子連第二回理事会

十二月三日（日）

（長岡市中央公民館・

さいわいプラザ）

【平成三十年】

・関フロ会長・事務担当者会議

一月十二日（金）～十三日（土）

（オリンピック記念総合セン
ター）

・関フロ安全啓発中級指導者講習会

一月十三日（土）～十四日（日）

（オリンピック記念総合セン
ター）

・新潟県社会教育懇話会事務局長
会議・県事業説明会

二月一日（木）

（県立生涯学習推進センター）

・第五回編集会議

二月十八日（日）

（大畑少年センター）

・全国子ども会中央会議・研究大会

二月二十三日（金）～二十五日（日）

（滋賀県・びわ湖大津プリンス
ホテル）

・県子連第三回理事会

三月四日（日）

（大畑少年センター）

・県子連だより第二二五号発行

三月九日（金）

・県子連第三回JL中級研修会

三月十七日（土）

（長岡市千手コミュニティセンター）



一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

あとがき

○今年は県内の社会教育団体（10団体）の幹事を県子連が担当しております。どの団体も会員の減少が見受けられますが、創意工夫しながら団体の発展に努めております。

県子連も魅力ある子ども会づくりが求められています。「参加して楽しかった、ためになった、また参加したい」と思えるような活動を行いましょ。

○平成三十二年度には関フロ新潟大会が開催されます。期日や会場の決定・実行委員会の立ち上げが予定されています。日常活動の充実を通して関フロ大会につなげていきましょう。

○最後に、県子連だよりの原稿をお寄せいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

（文責：板垣）

編集発行 一般社団法人

新潟県子ども会育成連合会

〒951-1811

新潟市中央区白山浦一三〇〇

電話 〇五-一三〇-五九八

FAX 〇五-一三〇-五九二